

私を変える、世界との出会い

黒石野中学校 三年 下平しもたひ 優月ゆづき

私の夢は、スタイリストになることです。

ファッションが好きで、休みの日はコーデ

ネートを考えることに夢中になります。でも、

自分に自信が持てず、「私には似合わないか

もしれない」と感じ、思いきりおしゃれを楽

しめないことがあります。そんな自分を変え

たい、自分らしさを大切にしたい、自信を持っ

て生きていけるようになりたい。そう考える

ようになったとき、同じような悩みを持つ人

の気持ちに寄り添い、その人の個性を引き出

すことのできる存在になりたいと思うようにな

りました。そして、その想いが「スタイリ

スト」という夢につながっています。

しかし最近、「今の、まだ自信の無い自分

に、人を支えることができると不安にな

ることがあります。だからこそ、まずは自

分自身と向き合い、自信を持ち、自分らしく

前を向いて生きていくための一歩を踏み出し

たい。その一歩として、このビクトリア市研修に挑戦したいと考えました。

そう思うようになった背景には、ある忘れられない経験があります。昨年、ネパールから来た女子高校生の留学生を、約四か月間ホストファミリーとして迎えました。私たちは食事や生活習慣、言葉や考え方、すべてが違いました。最初は、戸惑いやすれ違いも多く、うまくいかなかったこともありましたが、彼女は自分の文化に誇りを持ち、どんなときも

はっきりと意見を伝えていました。その姿に私は驚き、そして憧れました。「違うこと」は恥ずかしいことではなく、その人らしさや強さなのだ、と、初めて気づかされました。この経験を通して、私は多様な価値観に触れることに興味を持ちました。

この体験から、「もっと広い世界を知りたい」「もっと様々な価値観と出会いたい」と強く思うようになりました。カナダは、世界で初めて多文化主義政策を導入し、今では二

百以上の民族が共に暮らしています。盛岡市と姉妹都市という特別なつながりを持つビクトリア市で、現地の方々と触れ合いながら学べることに大きな魅力を感じました。

ビクトリアでの研修を通して得たい学びは二つあります。一つ目は、異なる文化や価値観を受け入れる柔軟な心と、自分自身を見つめ直す力を育むことです。二つ目は、現地の学校生活やホームステイの体験を通して言葉や習慣の違いを楽しみ強さを身に付けることです。こうした経験は、自分の夢に活かすだけでなく、将来、誰かが自分らしさに迷ったときに、スタイリストとしてその人の魅力を引き出し、背中をそっと押せる存在になるための土台になると信じています。そして何より、異なる背景を持つ人同士が理解し合い支え合える世界を目指すために私自身が、そのつながりを生み出す一歩を踏み出したいと思います。